



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坪井 鈴兒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山下 和男

TEL 025-245-4112

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,154	△2.5	741	130.1	781	196.1	590	—
23年3月期第3四半期	15,537	7.4	322	521.0	263	425.1	△264	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,062百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △447百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	21.89	—
23年3月期第3四半期	△9.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	38,804	11,883	30.6
23年3月期	39,096	10,871	27.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,883百万円 23年3月期 10,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—		
24年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	△3.8	940	58.5	810	55.1	600	478.0	22.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	27,000,000 株	23年3月期	27,000,000 株
24年3月期3Q	21,842 株	23年3月期	20,883 株
24年3月期3Q	26,978,925 株	23年3月期3Q	26,980,498 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年4月1日から12月31日までの9ヶ月間（以下、当第3四半期連結累計期間）におけるわが国経済は、長引く円高や株式市況の低迷、タイにおける洪水被害等、引き続き景況の悪化が懸念される不安定且つ不透明な状況が続いておりますが、後半には東日本大震災により甚大な影響を受けた生産や消費に持ち直しの動きが広がっておりつつあるものと認識しております。

このような事業環境にあつて当社企業グループは、主力である運輸部門において、新潟港が東日本の被災港の代替機能を発揮した結果、コンテナ貨物取扱量が急増し、更に、新潟港が日本海側拠点港に選定され日本海側港湾の中核的な役割を期待される中、業績は堅調に推移しております。一方で、不動産部門、機械販売部門、ホテル事業部門及び商品販売部門が低調に推移し、全体では売上が前年同四半期比で減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は151億5千4百万円（前年同四半期比2.5%の減収）、営業利益は7億4千1百万円（前年同四半期比130.1%の増益）、経常利益は7億8千1百万円（前年同四半期比196.1%の増益）となり、四半期純利益は5億9千万円（前年同四半期は2億6千4百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[運輸部門]

港湾運送事業における船内取扱数量は、震災の影響もあり、一般貨物、コンテナ貨物共に前年同四半期より増加した結果、529万9千トン（前年同四半期比18.7%の増加）となりました。

当社運輸本部と運輸系子会社3社（新光港運株式会社、リンコー運輸株式会社、丸肥運送倉庫株式会社）を合わせた同部門の収入は89億7千5百万円（前年同四半期比14.5%の増収）、セグメント利益は5億5千5百万円（前年同四半期比150.5%の増益）となりました。

[不動産部門]

宅地販売収入と地代・家賃収入を合わせた同部門の収入は5億7千2百万円（前年同四半期比8.2%の減収）、セグメント利益は1億4千9百万円（前年同四半期比22.2%の減益）となりました。

[機械販売部門]

公共・民間設備工事が低調で、産業・建設機械の販売が振るわず、同部門の収入は8億6千6百万円（前年同四半期比15.0%の減収）、セグメント損失は2千8百万円（前年同四半期は1千4百万円のセグメント損失）となりました。

[ホテル事業部門]

東日本大震災の発生に伴う個人消費の落ち込みは震災以前の水準に回復したものの、法人需要や団体需要が本格的な回復には至らず、株式会社ホテル新潟、株式会社ホテル大佐渡共に売上が落ち込みました。

その結果、同部門の収入は21億7千7百万円（前年同四半期比8.1%の減収）、セグメント損失は3千2百万円（前年同四半期は9百万円のセグメント利益）となりました。

[商品販売部門]

貿易収入、商品販売収入共に減収となり、同部門の収入は27億6千9百万円（前年同四半期比30.7%の減収）となりましたが、前年同四半期に計上した一般債権に対する貸倒引当金繰入額が大幅に減少した結果、セグメント利益は6千5百万円（前年同四半期は1億4千9百万円のセグメント損失）となりました。

[その他]

保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務を合わせたその他の収入は1億9千2百万円（前年同四半期比4.3%の増収）、セグメント利益は1千9百万円（前年同四半期比81.3%の増益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は2億9千2百万円、負債は13億5百万円減少し、純資産は10億1千2百万円増加いたしました。

資産の減少の主な要因は、時価の下落により投資有価証券が減少したことによるものであります。

負債の減少の主な要因は、社債の償還及び借入金の返済、税制改正に伴う実効税率の引き下げによる繰延税金負債及び再評価繰延税金負債の減少によるものであります。

純資産の増加の主な要因は、四半期純利益、配当金の支払い、税制改正に伴う実効税率の引き下げによる土地再評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日の決算短信で公表しました、通期の連結業績予想につきましては、見直しを行っておりません。

また、本日、公表いたしました「グループ組織再編（当社と連結子会社による吸収合併及び吸収分割）に関するお知らせ」及び「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当期の個別決算において関係会社株式評価を特別損失として計上いたします。

この特別損失の計上は、当期の個別業績に与える影響につきましては、現在、精査中であり開示可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、連結業績に与える影響はございません。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	367, 450	746, 627
受取手形及び営業未収入金	3, 755, 774	3, 986, 471
有価証券	2, 100	—
たな卸資産	268, 307	262, 603
繰延税金資産	122, 564	90, 650
その他	237, 972	184, 203
貸倒引当金	△94, 672	△4, 385
流動資産合計	4, 659, 497	5, 266, 170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22, 342, 647	22, 371, 356
減価償却累計額	△14, 325, 500	△14, 620, 456
建物及び構築物 (純額)	8, 017, 147	7, 750, 900
機械装置及び運搬具	2, 300, 162	2, 281, 011
減価償却累計額	△1, 996, 505	△2, 006, 941
機械装置及び運搬具 (純額)	303, 656	274, 069
土地	22, 017, 021	22, 019, 735
リース資産	610, 249	657, 786
減価償却累計額	△121, 820	△186, 926
リース資産 (純額)	488, 428	470, 860
建設仮勘定	255	—
その他	1, 483, 727	1, 511, 950
減価償却累計額	△1, 318, 260	△1, 335, 610
その他 (純額)	165, 466	176, 340
有形固定資産合計	30, 991, 976	30, 691, 906
無形固定資産		
リース資産	26, 845	24, 526
その他	655	489
無形固定資産合計	27, 501	25, 015
投資その他の資産		
投資有価証券	2, 206, 231	1, 754, 991
繰延税金資産	54, 481	57, 393
その他	2, 892, 837	1, 687, 097
貸倒引当金	△1, 739, 553	△681, 024
投資その他の資産合計	3, 413, 996	2, 818, 456
固定資産合計	34, 433, 474	33, 535, 379
繰延資産		
社債発行費	3, 564	2, 620
繰延資産合計	3, 564	2, 620
資産合計	39, 096, 536	38, 804, 171

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,037,039	2,313,891
短期借入金	6,700,000	6,900,000
1年内返済予定の長期借入金	2,720,658	2,669,130
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
リース債務	94,809	106,264
未払法人税等	73,450	264,963
賞与引当金	78,560	159,002
資産除去債務	6,151	—
その他	939,971	853,562
流動負債合計	12,750,640	13,366,814
固定負債		
社債	200,000	150,000
長期借入金	5,770,258	4,967,924
リース債務	436,792	405,840
繰延税金負債	1,683,653	1,351,406
再評価に係る繰延税金負債	6,548,549	5,807,545
退職給付引当金	441,014	476,884
役員退職慰労引当金	132,280	120,588
環境対策引当金	13,000	20,810
資産除去債務	100,989	102,585
その他	148,235	149,937
固定負債合計	15,474,773	13,553,522
負債合計	28,225,413	26,920,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,459	809,459
利益剰余金	183,198	723,999
自己株式	△6,584	△6,691
株主資本合計	2,936,073	3,476,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148,470	△120,515
土地再評価差額金	7,786,578	8,527,581
その他の包括利益累計額合計	7,935,048	8,407,066
純資産合計	10,871,122	11,883,834
負債純資産合計	39,096,536	38,804,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高		
運輸作業収入	6,957,810	7,929,723
港湾営業収入	152,229	161,824
不動産売上高	285,853	274,093
機械営業収入	944,607	779,252
ホテル営業収入	2,354,040	2,160,874
商品売上高	3,918,884	2,733,195
その他の事業収入	923,967	1,115,922
売上高合計	15,537,391	15,154,887
売上原価		
運輸作業費	6,379,736	7,028,915
港湾営業費	133,942	141,412
不動産売上原価	129,259	116,557
機械営業費	915,256	760,776
ホテル営業費	1,976,708	1,867,491
商品売上原価	3,787,962	2,648,095
その他の事業費用	607,382	745,836
売上原価合計	13,930,248	13,309,085
売上総利益	1,607,142	1,845,801
販売費及び一般管理費	1,285,048	1,104,554
営業利益	322,094	741,247
営業外収益		
受取利息	10,756	10,240
受取配当金	48,395	45,919
貸倒引当金戻入額	—	109,980
雑収入	50,265	37,717
営業外収益合計	109,417	203,857
営業外費用		
支払利息	149,126	139,472
雑支出	18,462	24,090
営業外費用合計	167,589	163,563
経常利益	263,923	781,541

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	18,815	1,430
保険解約返戻金	53,413	—
資産除去債務履行差額	—	6,164
その他	60	—
特別利益合計	72,288	7,595
特別損失		
固定資産処分損	2,944	19,372
投資有価証券評価損	—	9,417
貸倒引当金繰入額	317,117	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,810	—
その他	213	—
特別損失合計	360,086	28,789
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,874	760,346
法人税、住民税及び事業税	157,034	294,738
法人税等調整額	83,275	△124,941
法人税等合計	240,310	169,796
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△264,184	590,550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△264,184	590,550

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△264,184	590,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△182,919	△268,985
土地再評価差額金	—	741,003
その他の包括利益合計	△182,919	472,017
四半期包括利益	△447,104	1,062,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△447,104	1,062,568

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売 部門	ホテル事業 部門	商品販売 部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,804,606	285,853	992,888	2,354,040	3,918,884	15,356,273	181,118	15,537,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,733	337,850	27,017	14,810	76,483	488,896	3,152	492,048
計	7,837,340	623,703	1,019,906	2,368,851	3,995,368	15,845,170	184,270	16,029,440
セグメント利益又は損 失(△)	221,717	192,481	△14,216	9,763	△149,488	260,255	10,955	271,210

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	260,255
「その他」の区分の利益	10,955
セグメント間取引消去	6,860
その他の調整額	44,023
四半期連結損益計算書の営業利益	322,094

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売 部門	ホテル事業 部門	商品販売 部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,969,402	274,093	825,175	2,160,874	2,733,195	14,962,742	192,145	15,154,887
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,025	298,692	41,263	16,135	35,914	398,031	48	398,079
計	8,975,427	572,786	866,439	2,177,009	2,769,110	15,360,773	192,194	15,552,967
セグメント利益又は損 失(△)	555,376	149,701	△28,104	△32,509	65,501	709,965	19,856	729,822

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	709,965
「その他」の区分の利益	19,856
セグメント間取引消去	6,744
その他の調整額	4,680
四半期連結損益計算書の営業利益	741,247

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。